

## 釧路市の現状（速報版）

### （１）人口の動向

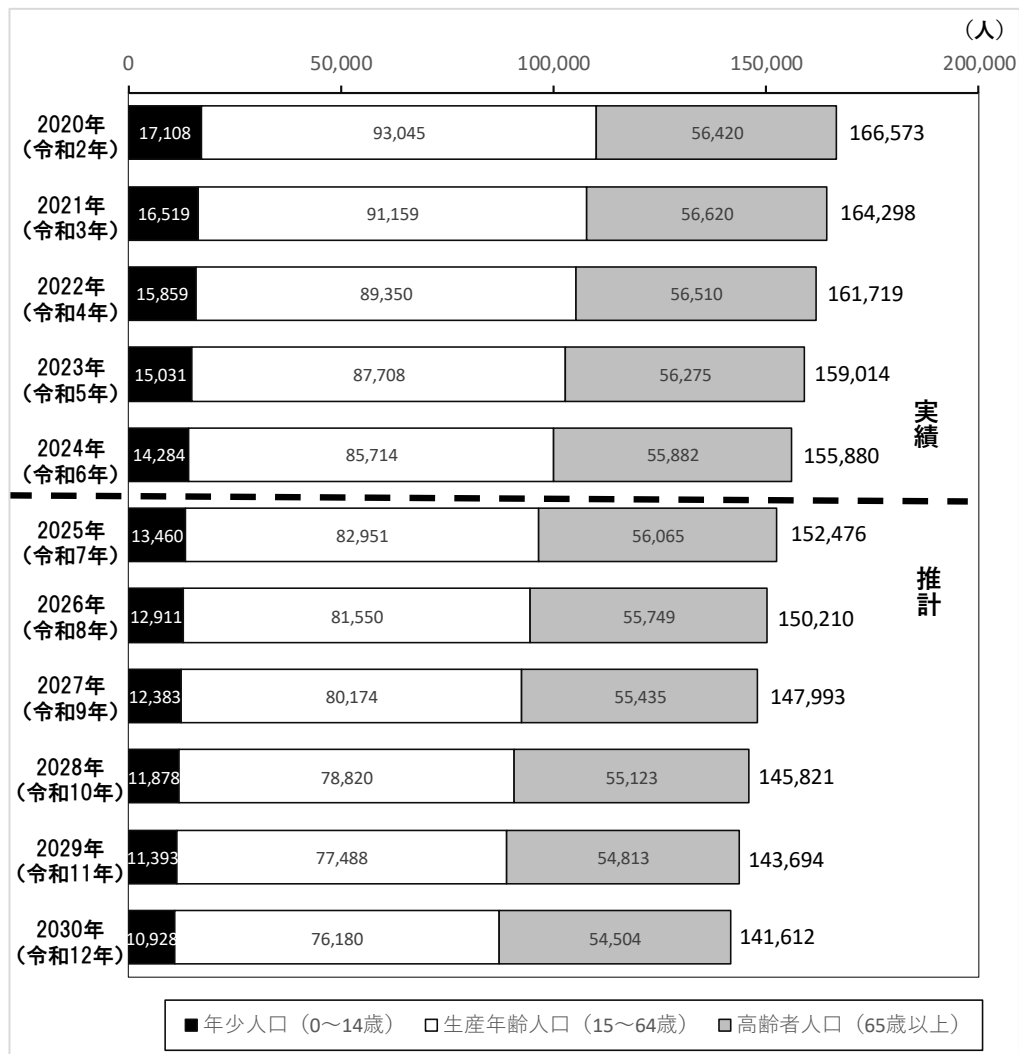
#### ①年齢３区分別人口の推移と今後の推計

2024 年（令和 6 年）3 月末時点の総人口は 155,880 人で、2020 年（令和 2 年）以降は減少傾向で推移しています。

年齢 3 区分別にみると、生産年齢人口（15～64 歳）及び年少人口（0～14 歳）は減少しており、高齢者人口（65 歳以上）は概ね横ばいとなっています。

今後の推計においては、引き続き生産年齢人口（15～64 歳）及び年少人口（0～14 歳）が減少し、2030 年（令和 12 年）の総人口は、141,612 人となることが見込まれています。

また、高齢者人口（65 歳以上）も減少していくことが予想されます。



資料：2020 年（令和 2 年）～2024 年（令和 6 年）：釧路市住民基本台帳（各年 3 月末）

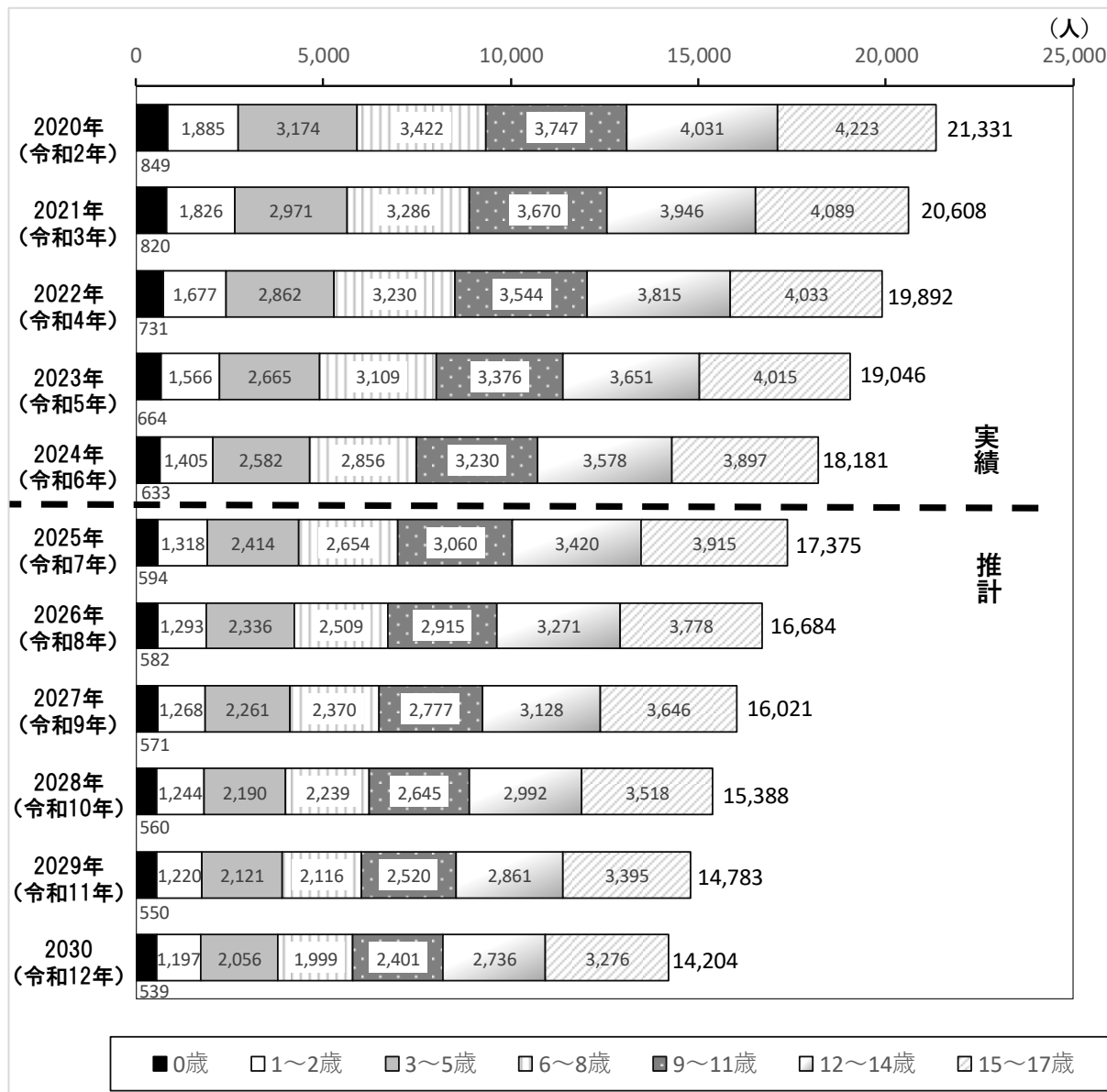
2025 年（令和 7 年）～2030 年（令和 12 年）：国立社会保障・人口問題研究所の推計値を元に算出

2024 年（令和 6 年）以前は住民基本台帳、2025 年（令和 7 年）以降は国立社会保障・人口問題研究所の推計値（国勢調査ベース）のため、単純に比較はできない。

## ②子どもの人口（18歳未満人口）の推移と今後の推計

総人口と同様、子どもの人口（18歳未満人口）も減少しており、2024年（令和6年）3月末時点で18,181人と、2020年（令和2年）と比較すると3,150人減少しています。

今後の推計においても、引き続き減少していくことが見込まれ、2029年（令和11年）以降は、1万5千人を下回って推移していくことが予想されます。



資料：2020年（令和2年）～2024年（令和6年）：釧路市住民基本台帳（各年3月末）

2025年（令和7年）～2030年（令和12年）：国立社会保障・人口問題研究所の推計値を元に算出

2024年（令和6年）以前は住民基本台帳、2025年（令和7年）以降は国立社会保障・人口問題研究所の推計値（国勢調査ベース）のため、単純に比較はできない。

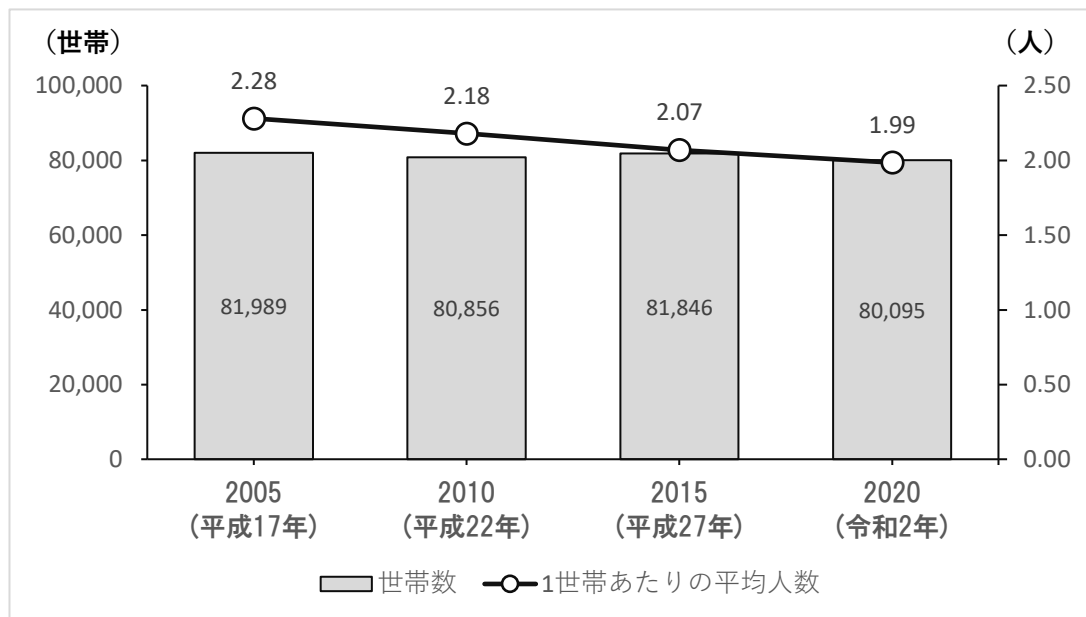
## (2) 世帯の状況

### ①一般世帯数、1世帯あたり人員の推移

国勢調査をみると、世帯数は横ばい傾向にありますが、一般世帯の家族類型をみると、単独世帯が増加しており、1世帯あたりの平均人数は減少傾向にあります。

また、6歳未満親族のいる世帯及び18歳未満親族のいる世帯の一般世帯における核家族世帯が占める割合は、いずれも約9割となっており、子どものいる世帯の大部分が核家族世帯となっています。

#### ■一般世帯数、1世帯あたり人員の推移



資料：国勢調査（各年10月1日）

#### ■一般世帯の家族類型

	2005年 (平成17年)	2010年 (平成22年)	2015年 (平成27年)	2020年 (令和2年)	2020年（令和2年）	
					6歳未満 親族のいる世帯	18歳未満 親族のいる世帯
一般世帯	81,989	80,856	81,846	80,095	4,483	12,557
A 親族世帯	55,540	52,616	49,477	45,874	4,455	12,411
I 核家族世帯	49,476	47,429	45,098	42,053	4,084	11,124
II その他の親族世帯	6,064	5,187	4,379	3,821	371	1,287
B 非親族世帯	496	692	671	825	28	82
C 単独世帯	25,953	27,548	31,697	33,385	—	64
一般世帯に占める 核家族世帯の割合	60.3%	58.7%	55.1%	52.5%	91.1%	88.6%

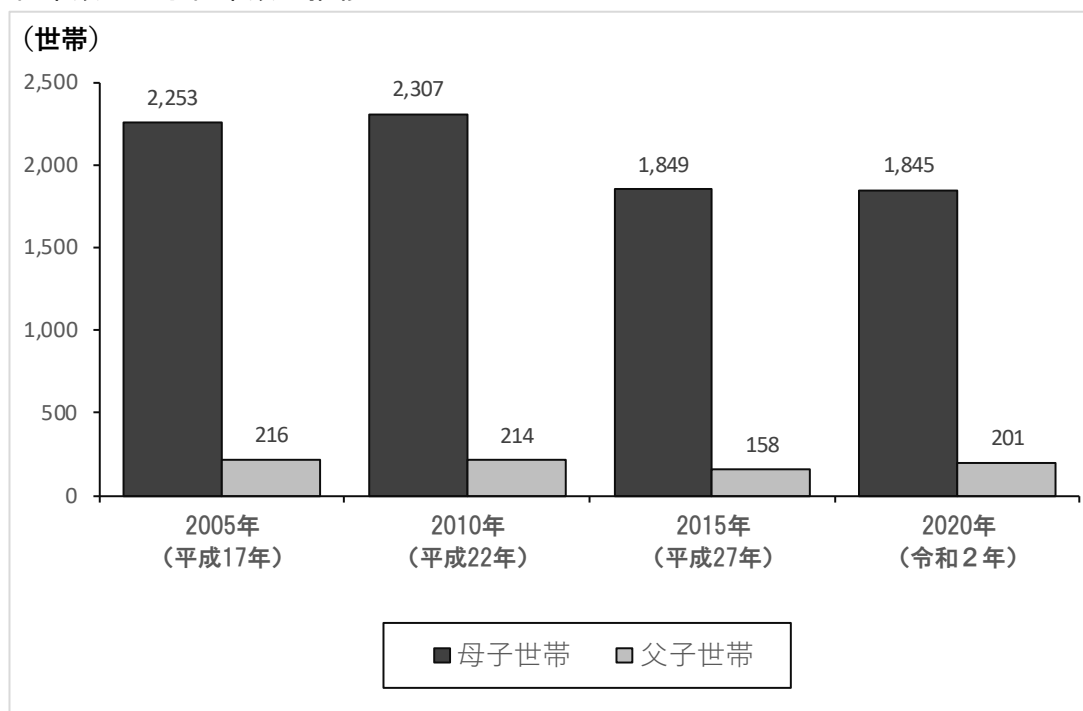
資料：国勢調査（各年10月1日）

## ②ひとり親世帯数の推移

2005年（平成17年）以降の母子世帯数は、増加して推移してきましたが、2015年（平成27年）は減少に転じています。

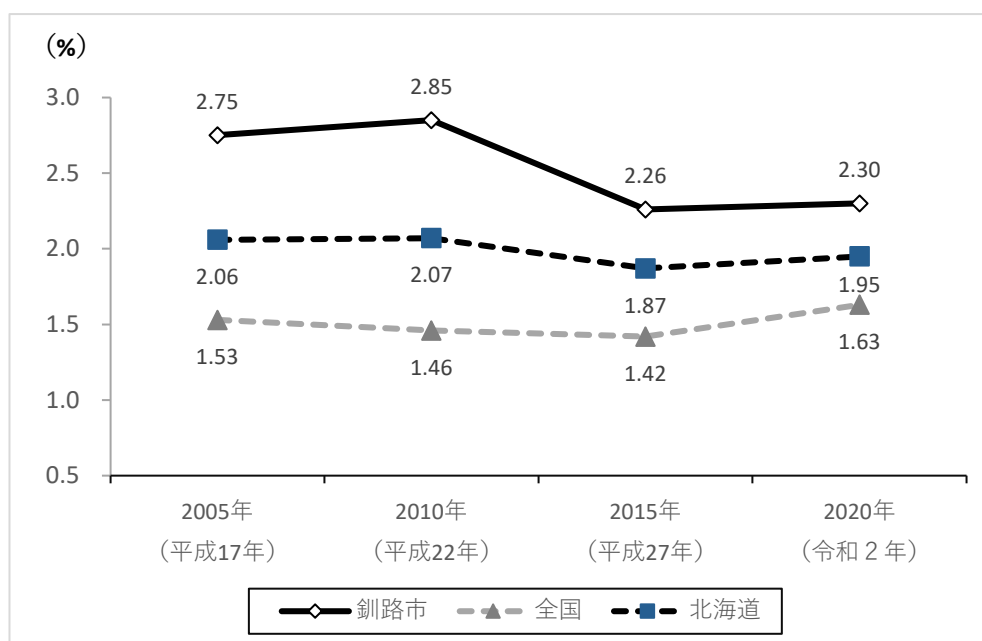
また、一般世帯に対する母子世帯の割合については、2015年（平成27年）に大きく減少しているものの、北海道及び全国の平均より高い水準で推移しています。

### ■母子世帯数・父子世帯数の推移



資料：国勢調査（各年10月1日）

### ■一般世帯に対する母子世帯の割合の推移

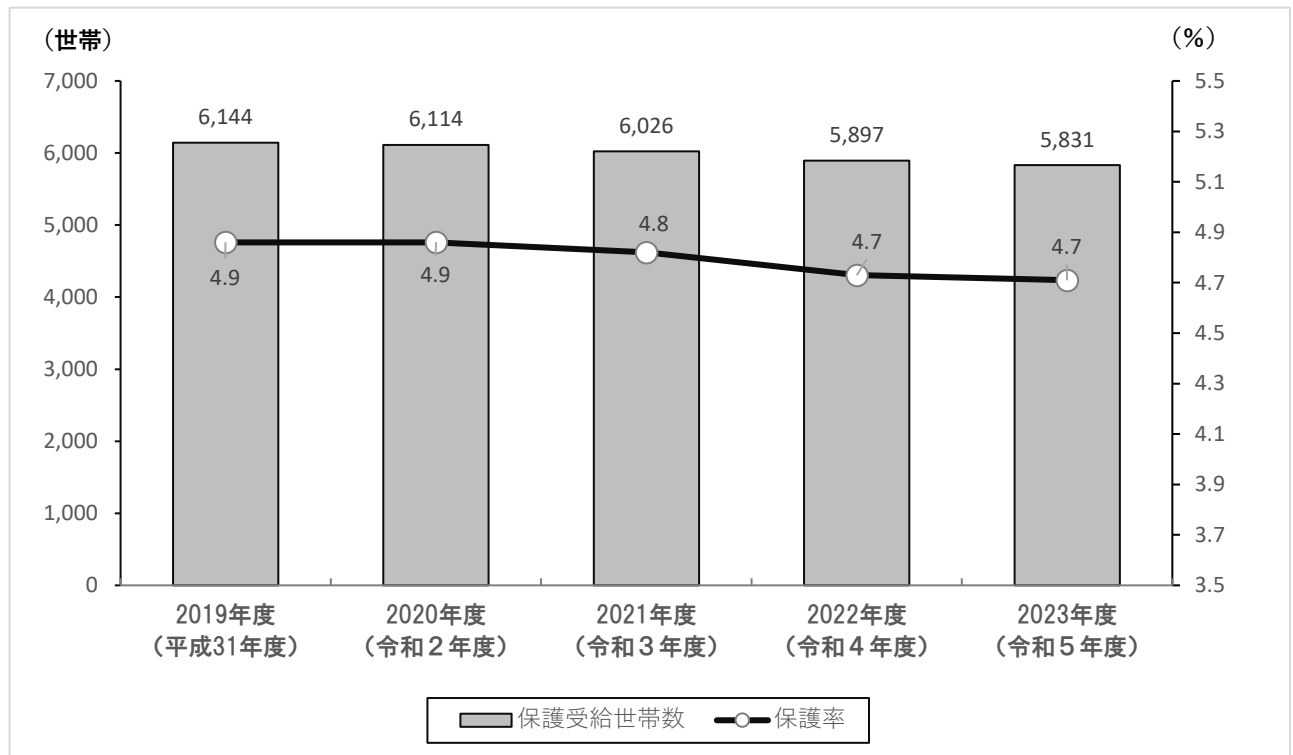


資料：国勢調査（各年10月1日）

### ③生活保護世帯数の推移

生活保護世帯数、保護率の推移をみると、2023 年度（令和 5 年度）は 5,831 世帯、保護率は 4.7%と減少傾向にあります。

#### ■生活保護受給世帯数、保護率の推移



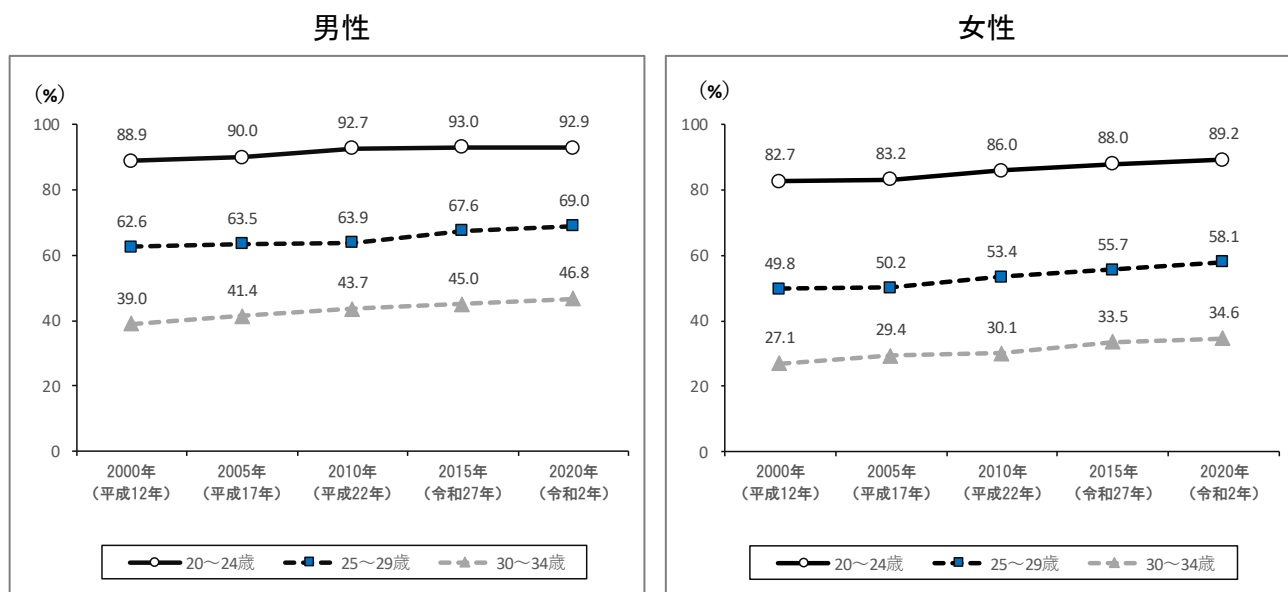
資料：市政のあらまし

### (3) 婚姻の状況

#### ① 未婚率の推移

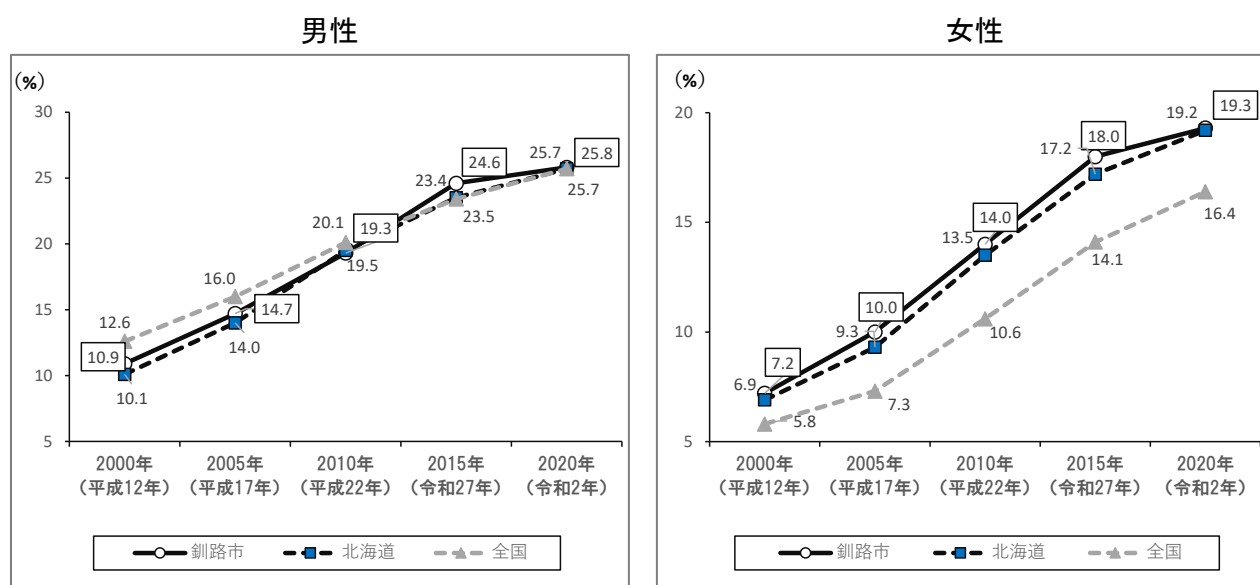
2000年（平成12年）以降の年齢階級別未婚率、生涯未婚率は、男女とも増加傾向にあります。特に女性の生涯未婚率は、北海道及び全国の平均より高い水準で推移しており、2020年（令和2年）には19.3%と、2000年（平成12年）と比較すると12ポイント以上増加しています。

#### ■ 年齢階級別未婚率の推移



資料：国勢調査（各年10月1日）

#### ■ 生涯未婚率の推移



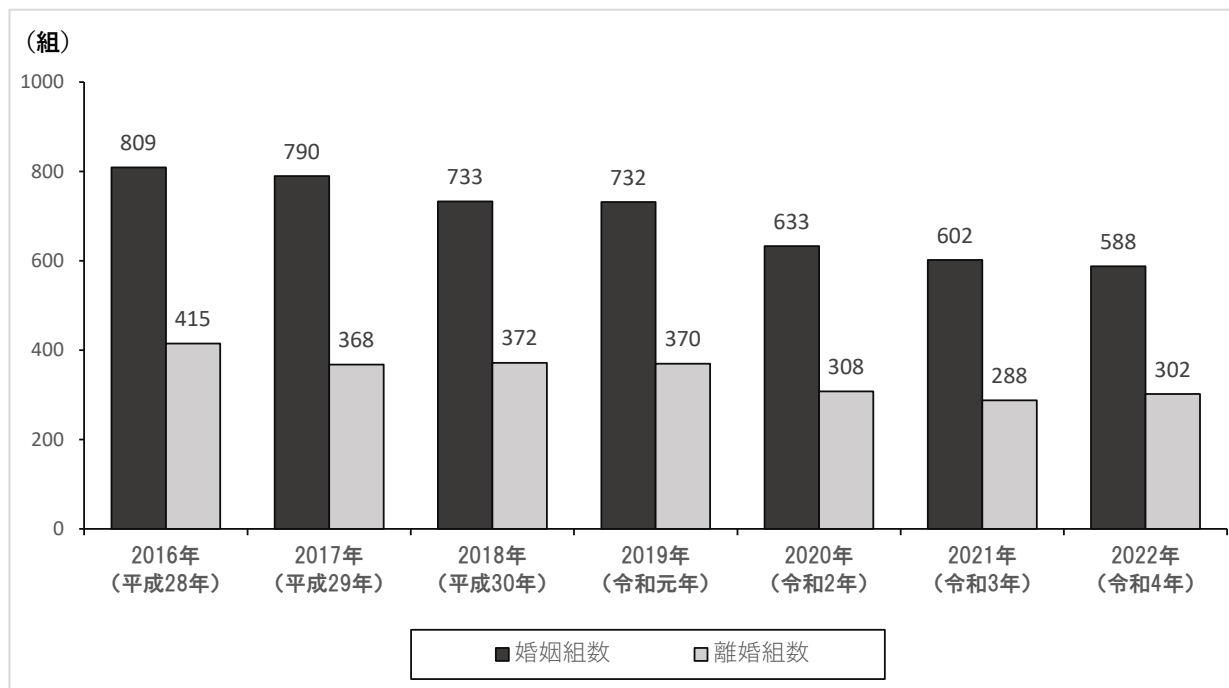
資料：国勢調査（各年10月1日）

## ②婚姻組数・離婚組数、離婚率の推移

婚姻組数は、減少傾向にあり、2022年（令和4年）には600件を下回っています。

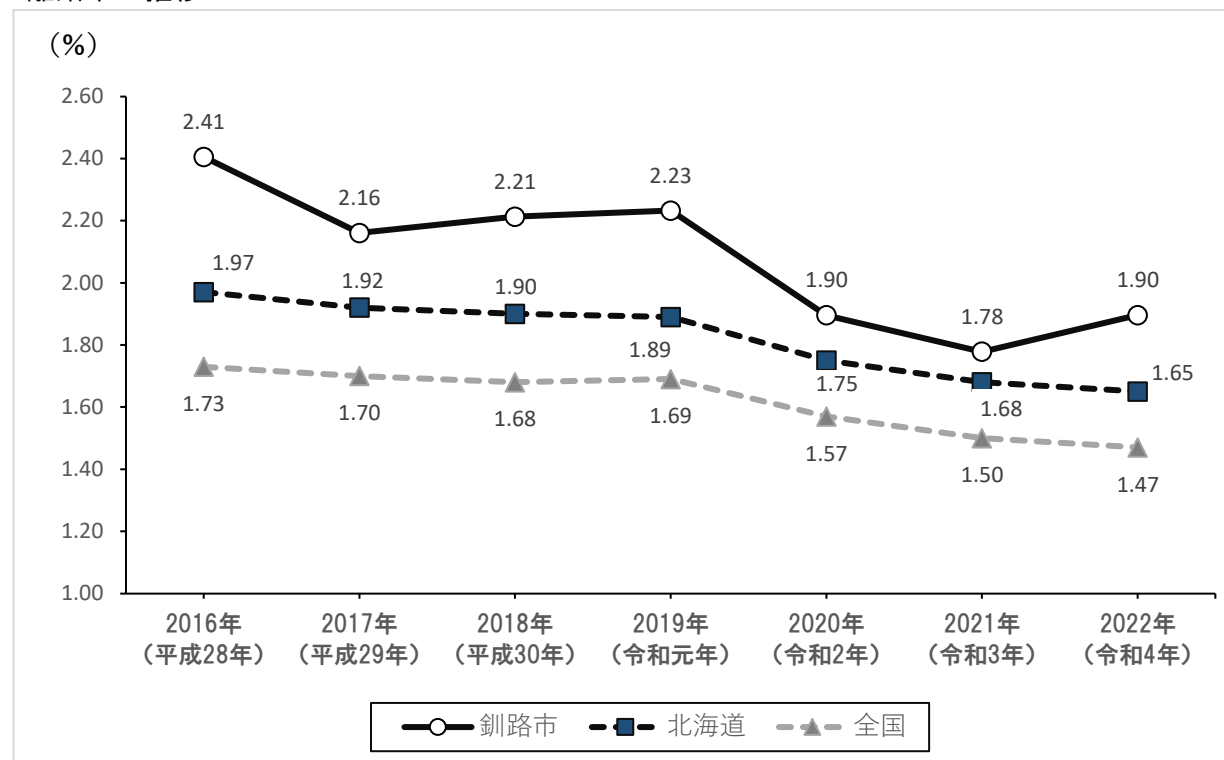
離婚組数は、減少傾向にあり、離婚率についても減少傾向で推移しているものの、北海道及び全国の平均より高い水準となっています。

### ■婚姻組数・離婚組数の推移



資料：釧路保健所

### ■離婚率の推移



資料：釧路保健所、厚生労働省「人口動態統計」

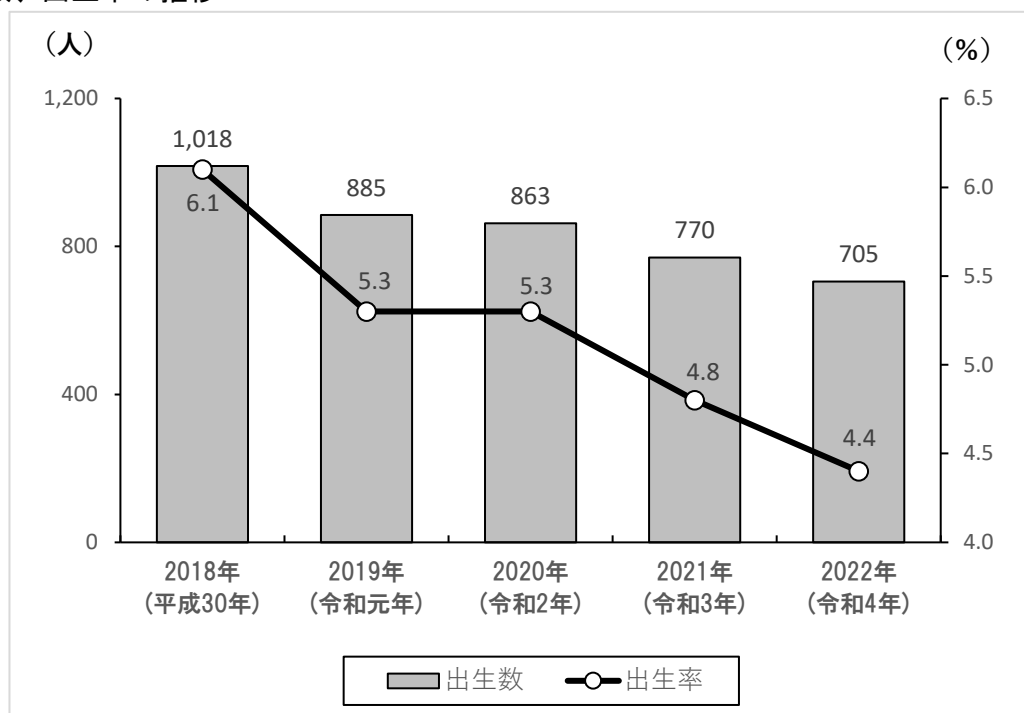
## （４）出生の動向

2022 年（令和 4 年）の出生数は 705 人となっており、2018 年（平成 30 年）より 300 人以上減少しています。

出生率も同様に減少傾向で推移しており、2022 年（令和 4 年）は 4.4%となっています。

また、2018 年（平成 30 年）～2022 年（令和 4 年）の合計特殊出生率（一人の女性が一生のうちに産む子どもの平均数）は、1.22%であり、2013 年（平成 25 年）～2017 年（平成 29 年）と比較すると減少しており、北海道平均は上回っているものの、全国平均より低い水準となっています。

### ■出生数、出生率の推移



資料：釧路保健所

※出生率算出の人口は 10 月人口で計算

（参考：釧路市算出）

2023 年（令和 5 年）出生数：649 人 ：出生率 4.1%（人口 158,048 人）

資料：釧路市 出生率算出の人口は 9 月末人口で換算

### ■合計特殊出生率

	2013 年（平成 25 年） ～2017 年（平成 29 年）	2018 年（平 30 年） ～2022 年（令和 4 年）
釧路市	1.31	1.22
北海道	1.30	1.21
全国	1.43	1.33

資料：厚生労働省人口動態統計特殊報告



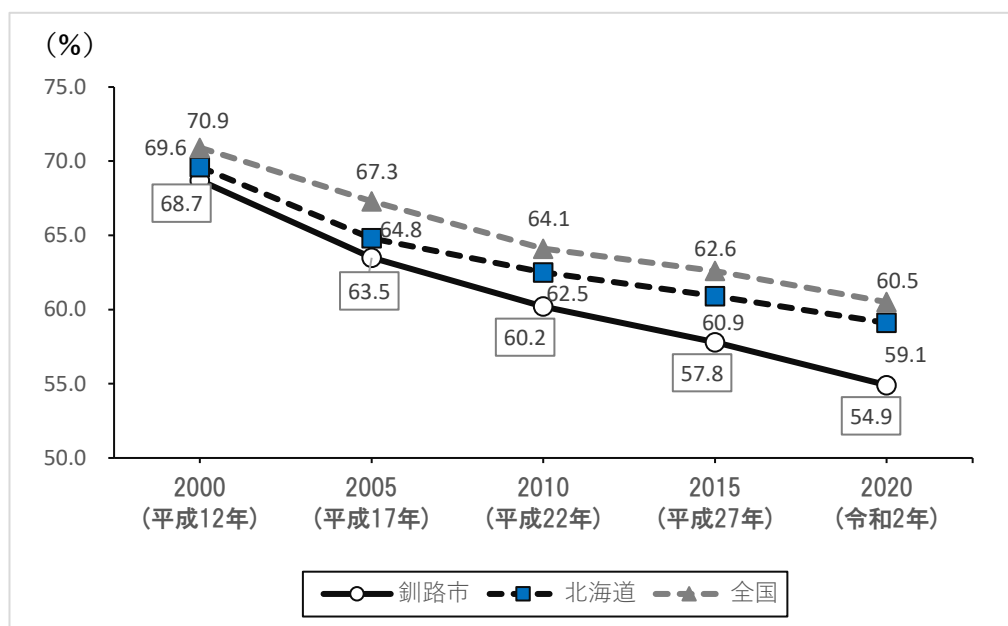
## (5) 就労状況

### ① 就業率の推移

2000年（平成12年）以降の男性の就業率は、高齢化に伴い、北海道及び全国の平均と同様に減少しており、2020年（令和2年）は54.9%と、2000年（平成12年）に比べて10ポイント以上減少しています。

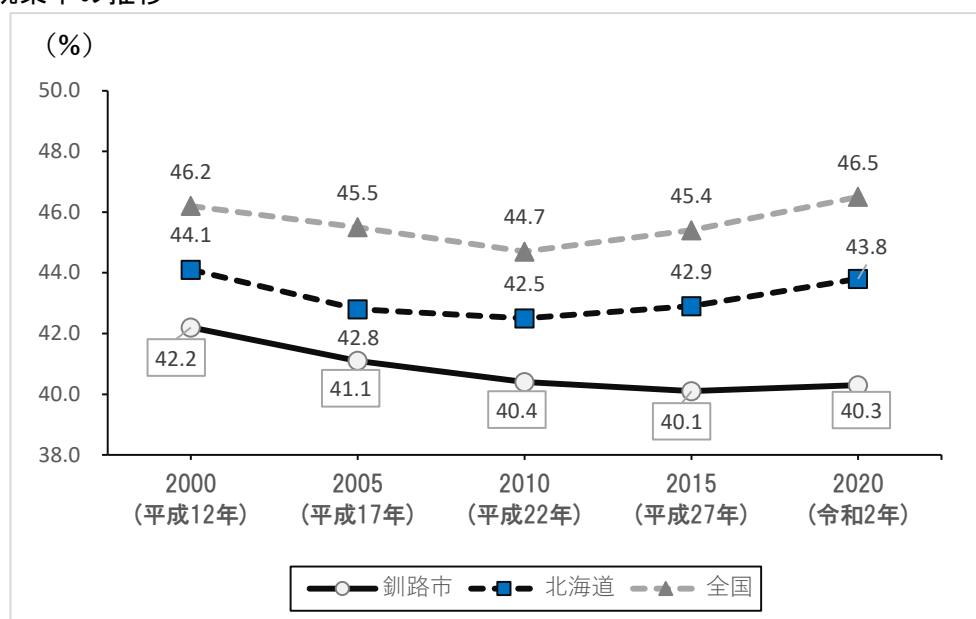
また、女性の就業率は2015年（平成27年）以降、増加傾向にあり、男女とも北海道及び全国の平均より低い水準で推移しています。

#### ■ 男性の就業率の推移



資料：国勢調査（各年10月1日）

#### ■ 女性の就業率の推移

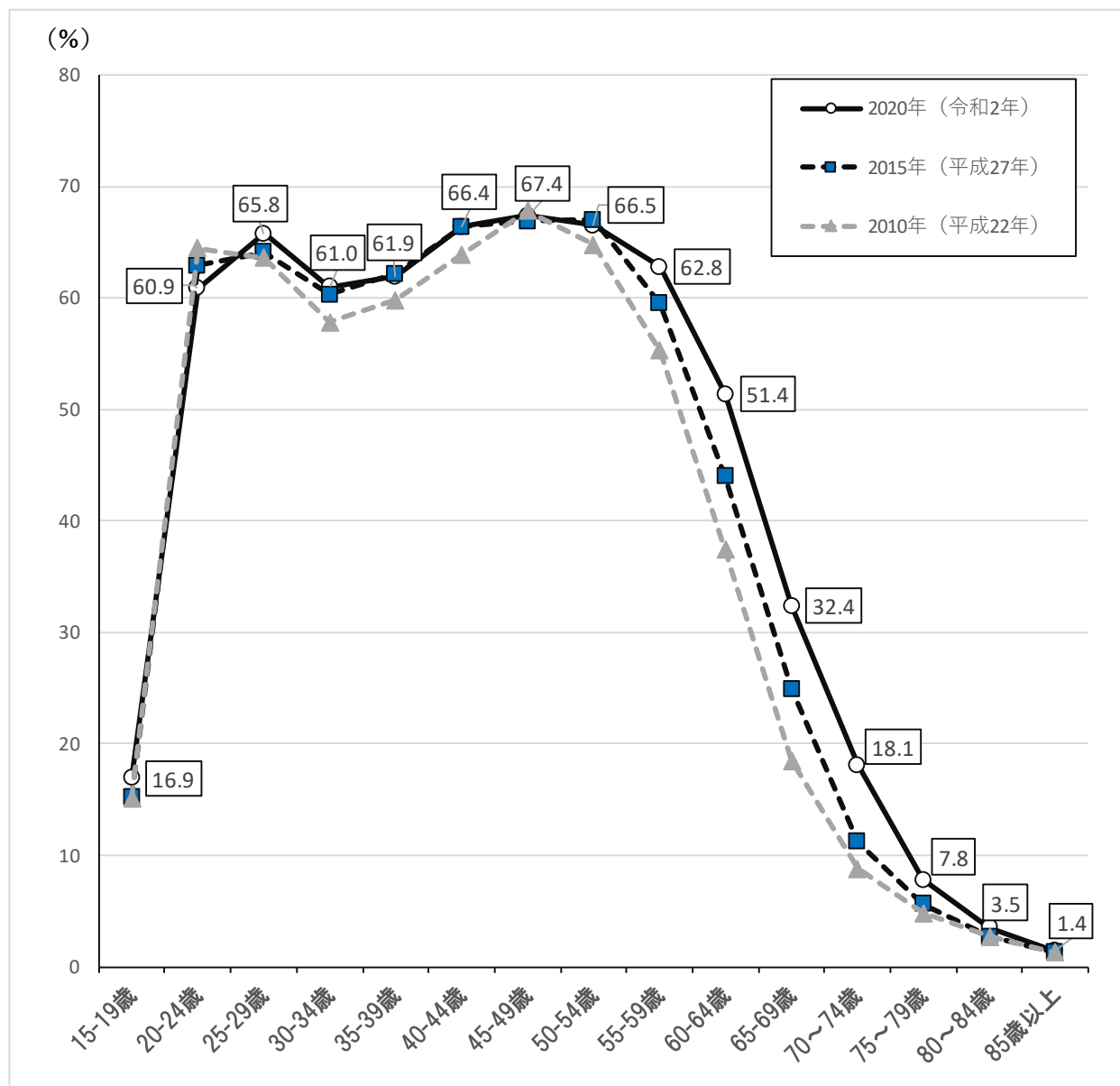


資料：国勢調査（各年10月1日）

## ②女性の年齢階層別就業率

女性の年齢階層別就業率をみると、結婚・出産・子育て期に就業率は減少し、その後、子育てが終わった時期にかけて再び増加する、いわゆるM字カーブといわれる状況は、2010年（平成22年）には顕著に表れていたものの、徐々にカーブが緩くなっています。

### ■女性の年齢階層別就業率の推移



資料：国勢調査（各年10月1日）

（注）グラフ中の数値データは2020年（令和2年）のみ掲載